

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・問合せや相談は多く、特に、1人暮らしの方が多い。
		商店街（代表者）	・来月から新1年生向けの学用品販売が始まるので、今後は当店も多少忙しくなって、販売量も多くなってくる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節もだんだん良くなってくるので、客の動きも少しずつ良くなるのではないかと期待している。
		スーパー（経営者）	・前年は3月末から忙しくなったので、今年も期待している。客からも「今年は、前年より忙しくなる」と言われているので、暖かくなれば忙しくなる。近隣の女子短期大学の学食をやってほしいと言われている。返答待ちだが、1日当たり2万円で20日間、40万円の売上を見込んでいる。利益20%で8万円かと期待している。
		スーパー（企画担当）	・着実に景気は回復基調なので、好景気はしばらく続く。
		スーパー（副店長）	・現状の売上は少し上向きだが、この先も現状維持できて、さらに春の訪れとともに上向くのではないかと期待も込めて、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・非常に低温で動きも鈍かった今月だが、これから春に向かい、ひな祭りやいろいろなイベントが増えるに従って、客の出足も良くなるだろうと期待を込めた判断をしている。
		衣料品専門店（経営者）	・春支度が始まり、客足も多少伸びるとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・軽自動車メーカーは、今年の新車販売台数の予想を前年比増としているので、年度末の需要期の販売増を期待したい。
		乗用車販売店（管理担当）	・需要期を控える3月にかけて、販売台数と在庫台数の増加が見込まれる。
		自動車備品販売店（経営者）	・季節要因ではあるが、春商戦に入るため、期待している。
		一般レストラン（経営者）	・地方でも、製造業に多少景気回復の動きが出てきているようだが、それが消費拡大につながるかどうかは、今までの経過からも分からない。
		スナック（経営者）	・1～2月の冬場を乗り切れば、春は異動の時期になる。3～4月は歓送迎会などで、団体客の動く機会も増えると思っており、売上を期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来月以降天候が良くなれば、来客の動きは出てくるとみている。ホテルも個人利用の動きが出てくるのではないかと。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・客は、年度末の出費に備え、必要のないことへの出費は抑え気味で、売手の施策には乗ってこない。購入意欲のないところへの売り込みは厳しく、売上を伸ばすのは難しい。ただし、テレビは買換え需要が徐々に増えてきており、単価上昇を狙いながら、売上増を期待したい。
		百貨店（総務担当）	・現状では、景気が良くなる見込みはない。天候による野菜等の価格高騰や燃料価格の上昇により、なかなか消費には回せないという客の話を聞いているので、現状ほとんど変わらない。
		百貨店（営業担当）	・株価が上昇しており、景気も良い方向に向かっているようだが、中間層はそういった実感がなかなか持てない。消費行動も、安い物が売れているのが現状である。一部の客には高額品も売れているが、それは本当に一部なので、ボリュームの多い中間層は慎重な買い方になる。
		百貨店（売場担当）	・新規やフリー客の増加は厳しいなか、天候が回復したところで、客の購買意欲が戻ってくるかということ、決して戻らない。では、春物ヘシフトしていくのかといっても、この気温ではそういう動きでもない。
		百貨店（店長）	・売上の前年割れは続いている。さらに、ここに来て低温、降雪など悪天候の影響も大きい。
		スーパー（経営者）	・ペースになる来客数は微減だが、除雪経費は増加している。
	スーパー（経営者）	・今後も野菜や魚の値段は高く、購買意欲が上がらない。	
	コンビニ（エリア担当）	・除雪作業で潤う業種もあるかもしれないが、小売に直結している様子はない。結果的に、予測以上の災害となっており、経済状況は良くならない。	
	家電量販店（店長）	・年々、集客数が減少している。	
	乗用車販売店（経営者）	・現在の堅調な販売状況が続く。	
	一般レストラン（経営者）	・外的要素に改善の兆しが見えなければ、良くなるとは見込めそうもない。	
	スナック（経営者）	・フリー客の動きが悪いままで、良くなる動きはみえてこない。	

	観光型ホテル（支配人）	・今後も高額な部屋の予約は余りなく、中間からエコノミータイプの予約が大半である。こうした傾向はしばらく続く。
	観光型旅館（経営者）	・当県は名刹の御開帳や大河ドラマ、デスティネーションキャンペーンなどが続いていたが、今年はそうしたイベントが少ないため、集客に期待できる要素も少ない。
	都市型ホテル（支配人）	・生鮮3品の一時的な価格高騰は落ち着くだろうが、更なる人材不足と賃金の上昇が、不安材料である。
	旅行代理店（副支店長）	・現在の受注は春先の旅行であるが、個人、団体共に、動きが鈍い。国内は今後の天候次第で、影響を大きく受ける可能性があり、被害の度合いにもよるが、旅行を自粛する可能性も高い。個人、企業共に、旅行需要の減少が懸念される。
	タクシー運転手	・ここ6か月をみても、売上は前年比100を超えたことはない。良くて97%、今月も多分、93%ぐらいで終わりそうである。徐々に落ちてきている。
	通信会社（経営者）	・生活優先が節約志向が強いのか、多チャンネルサービスは敬遠されがちで厳しい。
	美容室（経営者）	・年金生活者の節約志向が強く、春先の卒入学のイベント前に来客数が増えるとは考えにくい。
	設計事務所（経営者）	・店舗や工場の設計依頼が増えてきており、今月の仕事量を維持できるとみている。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘利用客は大幅な落ち込みはないものの、なだらかに減少している。
	商店街（代表者）	・長期予報によると、今後も寒さが続くとのことなので、厳しい商いは続く。
	コンビニ（店長）	・近隣に同業他社の出店があり、その分、売上は悪く、下向きとなる。
	ゴルフ場（経営者）	・隣接県からの来場、集客に力を入れているが、天候次第で来場者数は変化する。
	ゴルフ場（経営者）	・可処分所得の多い人の数が、減っている。
	× 一般レストラン（経営者）	・旧市街地にある飲食店客の高齢化が進み、さらに若年層客は郊外大手外食店へ流れている。
	× スナック（経営者）	・本当に良くなる要素が全然見当たらない。努力が足りないのか分からないが、都会と地方の格差は、ますます大きくなるのではないかと。東京オリンピックとは言っているが、なかなか地方には回ってくる様子はない。
	× 都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況が低調なまま推移している。また、不安定な天候のため、客の動きも非常に鈍い状態が続いている。現状では、この先が良くなる見込みや要因は全くなく、このまま悪い状態が続く。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-
	食料品製造業（営業統括）	・海外輸出ワインは、官民の努力により一歩ずつではあるが、着実に伸びている。また、各ワイナリー共、品質の向上に努力しているとともに、工場見学者を増やすために、独自色を出しており、今後は一層の売上増が見込まれる。
	食料品製造業（総務担当）	・個人所得は上向くとも考えられるが、社会保障制度など、将来的な不安は残っており、大きな改善は見込めない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・いろいろと営業PRをするものの、反応すらなく全く予想ができない状態で、非常に苦慮している。
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内受注量は、安定している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・安定した仕事はないが、現状の売上は確保できそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・国内景気は改善され、回復基調にあると言われているものの、我々にはまだ実感がない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・相変わらず、宝飾品の国内マーケットは低迷しており、回復の兆しがみえない。
	建設業（経営者）	・新年度に向かって、工事の話がちらほら出てきている。
	金融業（調査担当）	・製造業を中心に好調を維持する企業が多く、高水準の受注が続く見通しである。
	金融業（経営企画担当）	・消費者が必要以上の消費を抑えているため、2～3か月で、景気が浮揚することはないとみている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新年度に向けて広告費を見直す広告主もいて、予断を許さない状況である。賃上げが騒がれているものの、実際に経営者は賃上げの話に乗っていない。消費が増える要素は少ない。
		*
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
雇用	-	-

関連 (甲信越)	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・パートを含めた全数で比較すると、新規求職者は前月より増加したものの、有効求職者は10月から3か月連続で減少している。一方、新規有効求人数も10月から3か月連続で増加しており、有効求人倍率は1.60倍と、1.61倍であった平成18年12月以来、12年ぶりの水準になっている。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数の増加、求職者数の減少傾向は続き、求人倍率の上昇は今後も見込まれる。ただし、人材確保に苦慮している求人企業も多く、大幅な受注増にはつながらないとの話もある。
	人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・採用条件は変わらないため、失業者は増える傾向である。
	求人情報誌製作会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人誌に募集を掲載している企業は、いつも同じ業種が多く、なかなか採用までは至らない。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・年末退職予定の在職求職者の増加から、求職者は微増となっている。企業側の採用意欲は高いが、求職者は労働条件の確認など、応募に関して慎重な姿勢がみられる。
	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数は高止まりの傾向がみられるが、パートや契約等の求人が多く、正社員求人の増加とはなっていない。大手企業の一部では、旺盛な採用が続いている。
		-
x	-	-